

7. 水はどうやって川に流れこむの？ ① — 堤防が開いているところ



美蔓川。畑の間を流れ、畑の水を集めている。

(1) 小さな川が排水路

排水するためのみぞは、畑の形に合わせて新しくほる場合と、元からある川を使う場合があります。新しくほられたみぞも、必ず近くの川に流れこみます。

ただし、堤防のある川に排水路をつなぐ時には、工夫が必要になります。

どうしたら良いでしょうか？

(→ 堤防 p74)

注意!!…小さな川でも、深みがあるなど危険はあります。油断しないように。また、畑には勝手に入らないように。

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

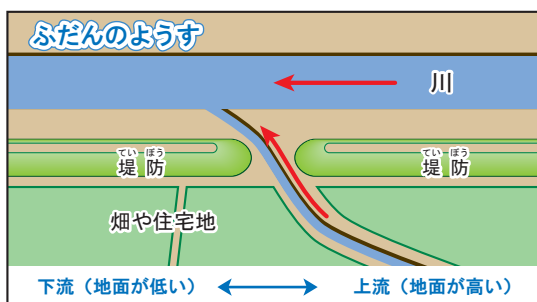
川につながる漁業や工業

付録

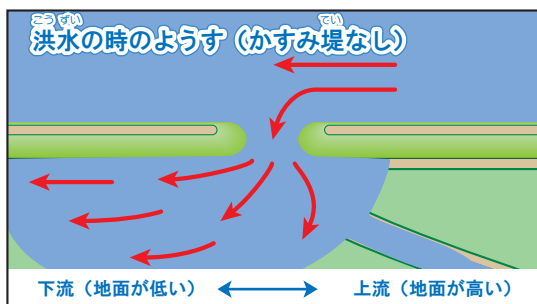
(2) 堤防にすき間をつくる

一つの方法は、堤防にすき間をつくることです。そうすれば水路を川につなぐことができます。

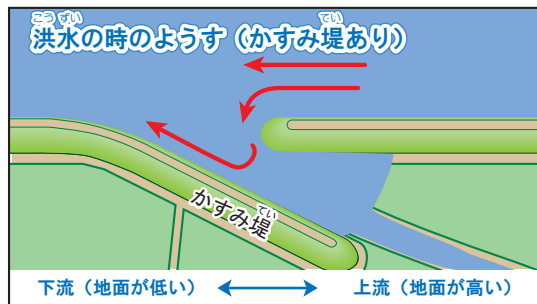
しかし、堤防に、ただすき間をつくるだけでは洪水の時に水が流れ出てしまいます。



堤防にすき間をつくれれば、川に水を流すことができる。



川の水が増えると、すき間から低い土地にあふれ出す。



下流側 (低い方)の堤防をのばして、かすみ堤にすると、増えた水があふれにくくなる。



美蔓川。かすみ堤の間を流れて十勝川へ。

(3) 重ねて開ける「かすみ堤」

そこで、堤防にすき間をつくる時は、下流の堤防を土地の高い上流の方にのばして二重にします。

こうすることで、川の水が増えても、下流の低い方へ流れ出すことを防ぐことができます。

こうした堤防の造り方を「かすみ堤」といいます。



空から見たかすみ堤。十勝川・美蔓川合流点。